

第 3 部

警戒避難期の災害応急対策

第1章 活動体制の確立

第1節 県災害警戒本部及び災害対策本部

1 県災害警戒本部及び災害対策本部の設置

県では、7月20日に川薩・始良，出水・伊佐地方に大雨洪水警報が発表されたのを受け、情報連絡体制を取っていたが、7月21日にはいり、自主避難が多くなってきたこと、連続雨量が400mmを越える地域が出てきたこと、鹿児島地方気象台の情報で今後雨が激しくなっていくと予想されたことなどから、7月21日21時20分に県災害警戒本部を、21時50分に、県災害警戒始良地方本部を、22時00分に県災害警戒薩摩，出水，伊佐地方本部を設置し、災害発生の際に当たった。

その後、雨は一時小康状態となったが、7月22日の明方から激しい雨に変わり、さつま柏原で9時から10時までの1時間に88mmの猛烈な雨を観測し、また、解析雨量では県北部の各地で1時間に80～90mmの猛烈な雨となっていた。また、鹿児島地方気象台の情報で、数時間にかけて洪水の危険度の高い状態が続くと予想されていたことなどから、県では、同日11時30分に災害対策本部，県災害対策出水支部を、11時45分に県災害対策薩摩支部を、12時に県災害対策始良，伊佐支部を設置し、迅速な応急対策を実施した。

2 県災害警戒本部及び災害対策本部の対応

(1) 気象情報の収集・伝達

気象情報は、ウェザーニューズの気象端末でレーダーアメダスの解析雨量を監視し、また、鹿児島地方気象台が発表する府県気象情報や土砂災害警戒情報、河川洪水予報等は防災情報提供装置により収集し、関係市町村、消防、出先総務事務所等へ防災行政無線で伝達した。

(2) 被害情報収集

各市町の被害情報

出先総務事務所等からの電話やFAXによる報告をとりまとめた。また、危機管理防災課から市町へ直接問い合わせるなどし、正確な情報収集に努めた。

ライフラインの被害情報

電話の不通状況はN T T西日本鹿児島支店から、また、停電情報については九州電力鹿児島支社から、定期的にFAXにより報告してもらった。

J Rの運行状況については、J R九州ホームページを確認した。

肥薩オレンジ鉄道の運行状況については、交通政策課が情報収集した。

断水状況については、生活衛生課が情報収集した。

公共施設被害や農業被害等

公共施設や農業、商工業等の被害については、庁内関係課が情報収集した。

(3) 報道発表等

各市町村の被害や、ライフライン被害、庁内主管課が情報収集した公共施設等被害等を危機管理防災課が取りまとめ、清潮会へ記者発表し、県ホームページでも広報した。

同発表は、7月21日23時現在の被害状況を最初に、9月1日14時現在まで、合計24回行った。

また、県ホームページについては、当初は、危機管理防災課が対応していたが、7月24日に広報課がフォームを作成し、ホームページの充実を図った。

(4) 救援、救出活動

県からの救援物資

湧水町、さつま町、大口市、菱刈町からの救援物資要請を受け、以下のとおり救援物資を提供した。

なお、物資の輸送は、輸送協定に基づき、県トラック協会に要請した。

輸送日	輸送場所 (市町村名)	輸送品目・数量		
		毛布(枚)	タオル(枚)	乾パン(缶)
7月22日(土)	湧水町	500	0	0
	さつま町	300	300	0
7月23日(日)	大口市	500	540	504
	菱刈町	300	300	312
合計		1,600	1,140	816

タオル、乾パンの端数は包装数の都合によるものである。

自衛隊の災害派遣

県ではさつま町、湧水町、菱刈町、薩摩川内市からの救出支援要請を受け、以下のとおり自衛隊への災害派遣要請を行った。

なお、陸上自衛隊から県災害対策本部へ3名の連絡員が派遣されていたため、自衛隊との調整を円滑に行うことができた。

7月22日12時

河川氾濫により孤立したさつま町虎居地区の住民の救出を要請し、28名を救出した。

7月22日14時50分

決壊のおそれがある湧水町桶寄川の堤防補強を要請したが、周辺道路の冠水のため、桶寄川へは到着できなかった。

7月22日15時30分

道路の冠水により孤立した菱刈町荒田地区の住民の救出を要請し、27名を救出した。

7月22日17時20分

ボートによる救出が困難と思われたさつま町虎居地区の住民のヘリコプターによる救出を要請したが、ボートによる救出ができたため、そのまま帰隊した。

7月22日20時

薩摩川内市において、育英コミュニティーセンターが危険な状況になったため、安全なサンアリーナ川内への避難住民の輸送及び毛布の貸し出しを要請し、避難住民27名を輸送し、毛布500枚を貸し出した。

7月22日20時

トラック協会が湧水町栗野地区まで輸送した毛布の湧水町吉松地区避難所への輸送を要請し、6箇所の避難所に毛布合わせて500枚を輸送した。

7月23日12時

湧水町吉松刑務所地区の給水ポンプが冠水により故障したため、給水支援を要請し、同地区の給水タンクに7tを給水した。

詳細は自衛隊の活動を参照

第2節 県水防本部

1 県水防本部の体制

7月20日20時50分、鹿児島地方気象台から出水・伊佐及び川薩・始良に大雨洪水警報が発表されたため、県は水防待機を開始し、各土木事務所その他関係機関に警報について急報し、水防について万全を期するよう指示した。また、7月21日21時20分、災害警戒本部が設置されたため、関係機関及び庁内関係各課との調整をはじめとする水防業務の遂行に努めた。

さらに7月22日11時30分、県の災害対策本部が設置されると同時に同本部の土木対策部として水防業務の遂行に努めた。

2 県水防本部の対応状況について

(1) 水防情報等の収集

気象情報

随時、危機管理防災課から鹿児島地方気象台の大雨に関する情報を収集し、各土木事務所及び関係機関に対し情報提供を行った。

雨量観測通報

県水防本部は、各土木事務所と緊密な連絡をとり、必要に応じて管内の雨量を報告させ、レーダー雨量計の活用により雨域の規模・動向等を把握し、随時関係土木事務所等に情報を伝達した。

水位観測通報

県水防本部は、指定水位により水防警報が発令された河川の水位の変動について各土木事務所から報告を受け、適切な措置をとった。

(2) 水防警報の発令及び通報について

国土交通大臣が発令する水防警報について

川内川に係る水防警報について、川内川河川事務所が発令し、県水防本部に報告があり、県水防本部は随時報道機関等関係機関に通報した。

知事が発令する水防警報について

平佐川及び天降川に係る水防警報について、川内・加治木各土木事務所が水防警報を発令し、県水防本部に水防警報の報告があり、県水防本部は随時報道機関等関係機関に通報した。

(3) 水位情報の周知について

国土交通大臣が行う水位情報の周知について

羽月川に係る水位情報について、川内川河川事務所から県水防本部に通知があり、適切な措置をとった。

知事が行う水位情報の周知について

天降川に係る水位情報について、加治木土木事務所から県水防本部に通知があり、県水防本部は随時報道機関等関係機関に通報した。

(4) 国土交通省と気象庁が共同して行う洪水予報について

川内川に係る洪水予報について、川内川河川事務所と鹿児島地方気象台から県水防本部に通知があり、適切な措置をとった。

第3節 市町村災害警戒本部及び災害対策本部

今回の災害では、県北部を中心に10の市町で災害対策本部を設置し、災害の予防及び応急対策にあたった。

なお、各市町の設置状況は次表のとおりである。

市 町 名	警戒本部	対策本部
	設置	設置
出水市	7/22 7:30	7/22 8:00
大口市	7/20 20:30	7/22 9:30
薩摩川内市	7/22 9:30	7/22 12:00
さつま町	7/21 18:00	7/22 10:00
菱刈町	7/21 17:00	7/21 18:30
湧水町	7/21 19:30	7/22 10:30
阿久根市	7/21 21:30	7/22 8:50
霧島市	7/21 21:00	7/22 12:57
長島町	7/22 2:00	7/22 8:00
蒲生町	7/22 12:30	7/22 18:02
日置市	7/23 1:20	
加治木町	7/23 8:30	
始良町	7/21 22:00	

第2章 避難勧告，指示の発令

今回の豪雨災害で，3市町が2,622世帯5,823人に避難指示を，9市町が26,923世帯63,306人に避難勧告を発令した。

この他，最大時（7月22日18時30分現在）には57世帯870人が自主避難を行った。

1 避難指示

市町名	地区名	発令日時	避難所名	避難対象者数	
				世帯	人数
薩摩川内市	川内他	7/22 15:10	サンアリーナ川内他	704	1,667
さつま町	虎居 宮之城屋地	7/22 11:35	宮之城農業高校体育館他	911	2,124
湧水町	吉松	7/22 13:10	吉松中央公民館他	1,007	2,032
計				2,622	5,823

2 避難勧告

市町名	地区名	発令日時	避難所名	避難対象者数	
				世帯	人数
出水市	東出水地区等	7/22 9:45	東出水小学校，消防署	2,479	5,632
	六月田地区	7/22 11:10	米ノ津東小学校	209	478
	東辺田・西辺田	7/22 12:10	公民館	92	234
	尾地自治会	7/22 14:35	公民館	102	252
大口市	大口	7/22 10:30	ふれあいセンター他12	719	1,859
	山野	7/22 10:30	山野基幹集落センター他8	202	521
	羽月	7/22 10:45	羽月地区公民館他7	376	1,053
	西太良	7/22 11:30	西太良地区コミュニティセンター他3	363	877
薩摩川内市	東郷町	7/22 13:55	サンアリーナ川内他50	657	1,617
	川内	7/22 15:16		493	1,097
	川内川流域	7/22 16:16		13,346	30,709
さつま町	川内川流域	7/22 11:00	宮之城農業高校他24	308	711
菱刈町	町内全域	7/22 11:23	南栄小学校他4	3,800	9,300
湧水町	原田，本町，宮前	7/22 13:10	旧栗野中体育館	81	228
	吉松	7/26 17:00	湧水町吉松体育館他7	152	366
阿久根市	大丸(一部)	7/22 11:45	三笠中学校他	63	136
	折口東・永田下	7/22 12:00		106	288
	大丸(一部)	7/22 12:30		36	78
	高松川川沿い	7/22 12:50		1,660	3,788
	折口川川沿い	7/22 12:50		53	144
	内田川川沿い	7/22 12:50		42	113
	波留(一部)	7/22 16:30		400	1,000
	永田上全域	7/22 16:40		99	272
筒田全域	7/22 16:40	68	177		
霧島市	横川	7/22 12:57	横川健康温泉センター他	1,012	2,368
始良町	北山上	7/22 15:15	旧堂山小学校	5	8
合		計		26,923	63,306

3 自主避難（最大時7月22日18時30分）

57世帯 870人

（阿久根市，出水市，大口市，薩摩川内市，霧島市，長島町）

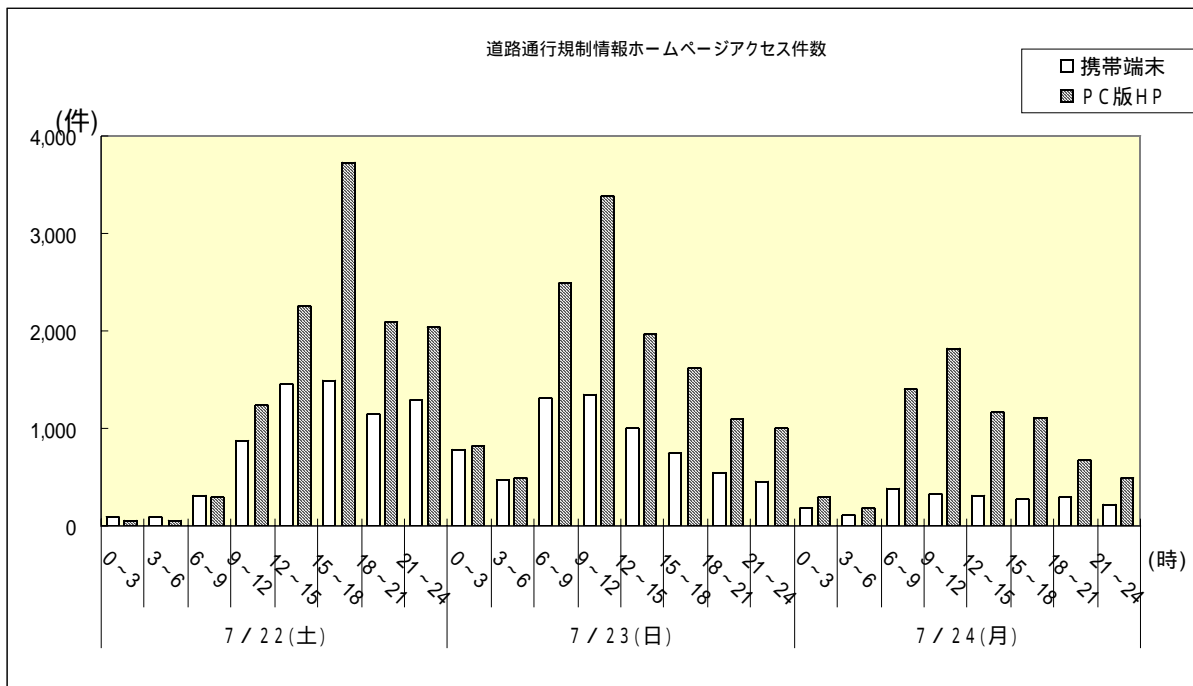
第3章 通行規制

今回の大雨に起因する通行規制総箇所数は115箇所で、ピーク時の7月23日には全面通行止め73箇所、片側通行止め11箇所、合計84箇所の通行止めを行った。

特に、7月22日は県北部地域のいたる所で、道路の冠水、流出、路肩決壊、法面崩落が発生し、川薩、出水、伊佐・姶良方面の国県道が寸断され、県民生活に大きな影響を与えた。

9月初旬には全面通行止めが10箇所程度に復旧したものの、12月末においても全面通行止め8箇所、片側通行止め11箇所、合計19箇所の通行止めを行った。

なお、平成9年4月から運用している「道路情報総合システム」では、国土交通省、西日本高速道路㈱、県道路公社、各土木事務所等から通行規制情報を収集し、県民や道路利用者にインターネットや携帯端末を利用して提供を行った。



第4章 自衛隊の活動

第1節 陸上自衛隊第12普通科連隊

陸上自衛隊第12普通科連隊は、鹿児島県知事の災害派遣出動要請により、孤立住民の救出、河川の警戒、物資輸送、給水支援を実施した。この間、さつま町、菱刈町、湧水町の3町に本連隊のみで延べ人員181名、車両51両、ボート7艘が出動し、55名を救出、給水支援7t、物資輸送支援（毛布500枚等）の任務を完遂し、2日間にわたる災害派遣活動を終了した。

1 災害派遣状況

場 所	延べ人員	延べ車両	延べボート	救出人員	物資輸送	給水支援
さつま町	102名	28両	5艘	28名		
湧水町	67名	19両			毛布500枚	7.0t
菱刈町	12名	4両	2艘	27名		
合 計	181名	51両	7艘	55名	毛布500枚	7.0t

2 各地区毎の災害派遣状況

(1) さつま町（虎居地区）(7/22～23)

7月22日、さつま町虎居地区で河川の増水による浸水で住民が孤立しているとの情報を入手し、連隊は速やかに初動対処部隊に災害派遣のための派遣準備を指示した。

同日12時、鹿児島県知事から孤立住民救出のための派遣要請を受けると同時に第1種非常勤務態勢に移行した。12時43分、第3中隊長以下28名及び本部管理中隊施設作業小隊長以下12名を虎居地区へ派遣、14時08分、虎居地区に到着した。到着後、速やかに第8施設大隊（川内駐屯地）と協同して渡河ボートにより救出を開始し、同日の17時55分、28名の孤立住民を救出した。その後、残留者の確認を実施して、19時50分、虎居地区孤立住民全員避難完了を確認した。

7月22日20時から7月23日6時までの間、現地において河川の警戒を実施した。6時30分、異状のない事を確認し、孤立住民救出及び監視任務を終了した。

(2) 菱刈町（荒田地区）(7/22)

7月22日、菱刈町荒田地区で河川の増水による浸水で住民が孤立しているとの情報を入手し、連隊は、7月22日15時08分、鹿児島県知事より孤立住民救出の派遣要請を受け、さつま町虎居地区に派遣中の本部管理中隊施設作業小隊長以下の渡河ボート器材隊を菱刈町荒田地区に転用し、16時50分から孤立住民救出活動を開始し、18時20分、同地区27名の孤立住民救出を完了し、孤立住民救出任務を終了した。

(3) 湧水町（7/22～23）

7月22日14時50分鹿児島県知事より湧水町における堤防決壊の土嚢設置派遣要請を受け、16時30分、重迫撃砲中隊長以下27名が現地へ出発、しかし前進中、経路上が冠水のため前進が困難となり、やむなく湧水町役場へ引き返し、事後の行動を湧水町役場の防災担当者と調整する。

20時，新たな支援任務として引続き鹿児島県知事より物資輸送支援の派遣要請を受け，湧水町の6ヶ所の避難所に毛布500枚の物資輸送を実施し，21時45分完了し，物資輸送支援任務を終了した。

(4) 湧水町(7/23)

今回の大雨により，湧水町吉松刑務所地区の給水ポンプ故障による断水が発生し，7月23日12時，鹿児島県知事より給水支援のための派遣要請を受け，重迫撃砲中隊小隊長以下7名を派遣し，15時30分から吉松刑務所給水タンクへ，7tの給水支援活動を実施し，給水支援活動任務を終了した。

第12普通科連隊は，今回の大雨による今後の災害派遣の可能性は極めて低いと判断し，第1種非常勤務態勢を解除，7月25日，18時をもって通常態勢に移行し，災害派遣活動をすべて終了した。

第2節 陸上自衛隊第8施設大隊

陸上自衛隊第8施設大隊は，鹿児島県知事の災害派遣出動要請により，孤立住民の救出，人員輸送，河川の偵察，物資輸送等の災害派遣活動を実施した。

この間，薩摩川内市，出水市，さつま町の2市1町に延べ人員65名，車両12両，ボート3隻を出動させた。

1 災害派遣状況

期間	市町村名	目的	隊力等
7/22 ~ 7/23	薩摩川内市 (育英地区)	住民輸送 27名 毛布輸送 500枚	人員 15名 車両 3両
	さつま町 (虎居地区)	孤立住民の救出 28名	人員 48名 車両 8両 渡河ボート3隻
	出水市 (市役所)	連絡幹部の派遣	人員 2名 車両 1両

2 各地区の災害派遣状況

(1) さつま町(虎居地区)(7/22~23)

7月22日，さつま町宮之城虎居地区において，川内川増水による浸水で住民が孤立している情報を入手した。大隊は速やかに，初動対処部隊に災害派遣のための派遣準備を指示し，第2種勤務態勢に移行した。

同日12時，鹿児島県知事から孤立住民救出のための派遣要請を受け，12時55分，人員20名，渡河ボート3隻を虎居地区へ派遣した。現地到着後，第12普通科連隊第3中隊と協同して渡河ボートにより救出を開始し，同日の17時55分，28名の孤立住民を救出した。その後，残留者の確認を実施して，19時50分，虎居地区孤立住民全員避難

完了を確認した。

7月22日20時から7月23日6時までの間、現地において河川の警戒を実施した。6時30分、異状のない事を確認し、孤立住民救出及び監視任務を終了した。

(2) 薩摩川内市(育英地区)(7/22)

7月22日20時、鹿児島県知事より薩摩川内市における避難住民及び物資の輸送支援要請を受け、同日20時30分第8施設大隊第3中隊人員6名、大型車両1両をもって育英センターの避難住民27名を川内アリーナへ輸送し、また、毛布500枚の輸送を実施し、21時20分完了し、輸送支援任務を終了した。

23日9時、鶴田ダムの放流による川内川の氾濫が予想されたことから第3種勤務態勢に移行した。

その後、7月23日14時以降薩摩川内市が災害対策本部の規模を縮小し、避難住民に対する対応を重視して活動することとしたことから、第3種勤務態勢を解除し、第1種甲勤務態勢に移行する。

7月25日21時55分、第1種甲勤務態勢を解除し、通常態勢に移行するとともに、全ての派遣活動を終了した。

第5章 警察の活動

第1節 警備体制の確立

7月20日午後8時50分，出水・伊佐，川薩・始良に大雨・洪水警報が発表されたことから，同日午後9時10分，警備部長を長とする「県警察災害警備本部」を設置した。

7月22日午前10時，薩摩地方に大雨・洪水警報が発表されたことから，同日午前11時，警察本部長を長とする「県警察災害警備本部」を設置し，警戒警備体制を確立した。

第2節 警備活動

1 警備部隊出動

- (1) 管区機動隊中隊長以下18人は，川内川が氾濫したさつま町へ出動し，救出・救護活動を実施した。
- (2) 管区機動隊2小隊長以下10人は，川内川が氾濫した薩摩川内市へ出動し，救出・救護及び避難誘導活動を実施した。
- (3) 県機動隊小隊長以下27人は，米之津川が氾濫した出水市へ出動し，避難誘導活動を実施した。
- (4) 第二機動隊小隊長以下19人は，土砂災害が発生した菱刈町へ出動し，救出・救護活動を実施した。
(生き埋めとなった被災者1人を遺体で発見)
- (5) 第二機動隊小隊長以下16人は，川内川が氾濫した薩摩川内市へ出動し，救出・救護及び避難誘導活動を実施するとともに，翌日から，川内川氾濫による行方不明者の捜索を実施した。
(行方不明者1人を遺体で発見)
- (6) 第二機動隊小隊長以下14人は，土砂災害が発生した菱刈町へ配転し，救出・護活動を実施した。
(車両ごと生き埋めとなった被災者1人を遺体で発見)

2 交通整理部隊

交通機動隊(白バイ2台)及び第二機動隊は，川内川の氾濫及び崖崩れなどにより交通が一部遮断したさつま町に出動し，主要交差点において交通整理等を実施した。

3 航空隊

県警ヘリ「はやと」は，22日から24日にかけて上空からの被害状況等をヘリテレ撮影し映像を警察本部へ伝送するとともに，川内川の濁流に巻き込まれた行方不明者の捜索を実施した。

4 警備艇

県警警備艇「さくらじま」は、川内川の濁流に巻き込まれた行方不明者の捜索を、24日早朝から川内川河口付近で実施した。

5 女性警察官支援隊

避難所や一人暮らしの高齢者宅を訪問し、被災者の悩み事相談等に対応するとともに、被災地における警察安全相談をはじめ、空き巣や振り込め詐欺等への注意喚起などの被災者対策を実施した。

主な対応内容

日付	時間	災害警備活動
7/20	21:10	警備部長を長とする「県警察災害警備本部」を設置
7/22	11:00	警察本部長を長とする「県警察災害警備本部」を設置
	12:45	管区機動隊小隊長以下は、川内川が氾濫したさつま町へ出動
	13:34	管区機動隊小隊長以下は、川内川が氾濫した薩摩川内市へ出動
	13:35	機動隊小隊長以下は、米ノ津川が氾濫した出水市へ出動
	18:50	第二機動隊小隊長以下は、土砂災害が発生した菱刈町へ出動 第二機動隊小隊長以下は、川内川が氾濫した薩摩川内市へ出動 (一部は、さつま町へ配転) 翌日からは、川内川氾濫による行方不明者の捜索を実施
7/23	07:00	第二機動隊は、菱刈町へ配転
	09:45	派遣された機動隊は、出水市内において交通整理を実施
	14:00	第二機動隊小隊長以下は、土砂災害が発生した菱刈町へ出動
7/24	06:30	交通機動隊及び第二機動隊は、さつま町に出動

第 6 章 消防の活動

第 1 節 出水市消防本部

本市では、20日から時折強い雨が降り、22日の早朝6時頃より連続して時間雨量が50mmを越す強い雨に見舞われ、7時半頃より低地での床下浸水等が出始めた。本庁及び各支所に災害対策本部が設置されたのに伴い、消防本部からは消防長が出向し、災害対策本部と消防本部との連絡を緊密に行い各災害地の被害に対応した。その後も雨は降り続き9時55分、米之津川の水位が危険水位を超え、10時45分頃に春日橋付近で堤防を越水し市街地が浸水し始めた。11時頃には市役所や米之津川流域の商店街や住宅、周辺の田畑も冠水した。

米之津川流域では、道路と田畑の区別もつかないように泥水が流れ、深いところで腰から胸付近まで水位があがった。流れの速いところや深いところの住家では、逃げ遅れた住民が救助を求め、消防署員、消防団員が出動してボートや消防車で避難所へ救出・誘導した。また、物的被害は多数にあがったが、人的被害は、これほどの災害でありながら幸い免れた。16時頃から水が引き始め、20時には米之津川の水位も危険水位を下まわったので、避難勧告が解除になり、21時30分に災害対策本部から災害警戒本部に切替えられた。

翌23日早朝5時頃より再び激しい雨になり瞬く間に米之津川の水かさが増し危険水位を超えたために、6時30分に再び避難勧告が出され、住民は避難を始めた。この時既に米之津川にかかる広瀬橋近く及び春日橋付近で昨日以上の早さで越水が始まり、濁流が市街地をのみこんでいった。

市内高尾野町江内地区でも江内川が氾濫し、住宅地が冠水した。また、市内野田町野田川も増水のため堤防がえぐれ宮田橋の一部が流出した。

10時頃から雨も小降りになり市街地の水が引き始め、11時に米之津川流域の避難勧告が解除となり、17時には市内全地域の避難勧告が解除となった。

今回の水害による活動人員は消防職員延べ140人、消防団員延べ810人である。

22、23日の救出活動は次の表のとおりである。

7月22日(土)

内 訳	人
ボート救出 計	26
消防本部(消防署)	(24)
消防団	(2)
消防車両 計	31
消防本部(消防署)	(22)
消防団	(9)
小 計	57

7月23日(日)

内 訳	人
ボート救出 計	28
消防本部(消防署)	(28)
消防団	(0)
消防車両 計	6
消防本部(消防署)	(6)
消防団	(0)
小 計	34
救 出 合 計	91

未曾有の被害をもたらした，鹿児島県北部豪雨災害を振り返ってみると，先ず，災害が大きくなった要因として，強い雨が長時間続いた。川の途中に井堰が多く，川床の堆積物（砂利等）が多くなっていて，川床が上がっている。（数年除去していない）次に，災害が抑制された要因として，満潮と重らなかった。土，日曜日で，自宅にいる人が多かった。災害のピークの時間帯が明るい時間帯であった。抑制された最大の要因は，堤防を越水はしたが，決壊しなかったことが挙げられる。

最後に消防の活動は，初めは土嚢積み等の災害防御を行ったが，越水が広範囲に及んだために対処できなくなり，避難誘導と救助活動に専念し人的被害の軽減に努めた。

今回の水害は，本市においては過去にも例がないほどの被害をもたらしたが，多くの教訓を得た災害であった。

主な対応内容

日付	時間	実際に実施した対策
7/22	7:29	高尾野町東辺田地区 崖崩れ発生
	7:40	現場調査
	7:29	高尾野町荒崎地区（黒蕨商店から柴山石油）道路冠水
	7:30	出水市災害警戒本部設置
	7:34	針原地区 床下浸水
	7:42	現場に出動 消防署，消防団対応
	7:46	高尾野町平坊地区で鉄砲水発生
	8:03	現場調査
	7:57	野田町屋地 鶏舎裏で崖崩れ発生
	7:58	現場に出動 消防団対応
	8:04	西大野原 床下浸水
	8:08	現場に出動 消防署対応
	8:08	前田地区 車が土砂で埋まっている（要救助者なし）
	8:10	高尾野町荒崎地区 床下浸水
	8:10	松尾地区 床下浸水
	8:22	現場に出動 消防署，消防団対応
	8:16	平松東地区 床下浸水
	8:22	新蔵中地区 床下浸水
	8:25	消防団対応
	8:31	上豎馬場地区 床下浸水
	8:33	消防団対応
	8:34	多目的広場前路上にて車が冠水
	8:35	現場に出動 8:46車撤去済み
	8:44	松尾地区 床下浸水
	8:46	現場調査
	8:44	高尾野町麓地区 旭タクシー付近冠水
	8:45	現場に出動
	8:44	福ノ江港水門付近冠水
	8:46	現場に出動 消防団対応
	8:49	宇都野々地区 土砂崩れ発生国道328号線通行不能
	9:00	高尾野町麓第2団地 床下浸水
	9:01	現場調査
	9:08	国道328号線通行止め（いずみ茶屋手前50m）
	9:12	針原地区 砂防ダム調査
	9:18	野田町受口地区 公民館付近の河川水位が上昇
	9:19	現場調査 消防団対応
	9:27	国道504号線全面通行止（鶴田～定の段線）
	9:30	市内全域避難所開設
	9:45	避難勧告発令（本町，朝日町，沖田，平良川周辺，広瀬川周辺）

日付	時間	実際に実施した対策
7/22	9:55	白木川内地区 床下浸水
	9:55	栄町出水タクシー付近冠水
	9:55	春日橋付近河川越水まで50cm
	10:10	現場に出動 消防署, 消防団対応
	10:22	野田町下餅井地区 倉庫で土砂崩れ発生
	10:33	現場調査 分署, 消防団対応
	10:40	栄町地区 床下浸水
	10:42	現場に出動 消防団対応
	10:45	春日橋付近 越水
	10:50	消防署では対応不可能, 県土木で対応
	10:45	安原地区 床下浸水
	10:47	現場に出動 消防団対応
	10:45	栄町地区 避難要請
	10:46	現場に出動 救急予備車 3名救助
	11:10	六月田中, 六月田下, 沖田住宅避難勧告
	11:12	野田町大丸地区 豚舎で土砂崩れ発生
	11:17	現場に出動 分署, 消防団対応
	11:18	白木川内地区 避難要請
	11:19	現場に出動川が氾濫していた為現場まで行けず 救急予備車, 広報車
	11:20	朝日町地区 避難要請
	11:21	現場に出動 広報車で4名救助
	11:22	上沖田地区 避難要請
	11:23	現場に出動 救急1号車で3名救助
	11:22	国道447号線全面通行止(大川内)
	11:31	警戒広報 救助工作車
	11:32	原地区冠水
	11:35	現場調査
	11:39	朝日町地区 避難要請
	11:40	査察広報車で3名救助
	11:49	朝日町地区 避難要請
	11:50	救急2号車4名救助
	11:57	広瀬橋, 春日橋通行止(災害対策本部より連絡)
	12:07	沖田地区 アパート2階より救助要請あり
	12:08	救急予備車で4名救助
	12:11	沖田地区 冠水し避難要請(2世帯)
	12:12	現場に出動 ポンプ車で2名救助
	12:37	帰署途中3名救助 ポンプ車で計5名救助
	12:59	沖田地区 避難要請あり
	13:00	救急予備車・ボートにより11名救助
	13:01	高尾野町旧番所地区 避難要請
13:03	消防団担架により1名救助	
13:08	出水駅 避難誘導 救急2号車で6名収容避難させる	
13:18	沖田地区 巡回途中救助工作車で4名救助	
13:30	マルイ野田工場から宮田橋左岸(野田川)決壊の恐れ有りと連絡	
13:35	現場調査	
13:59	野田支所から災害対策本部へ野田川決壊の恐れへの報告	
14:00	のぼる産業付近 4名救助消防団対応(西出水小に避難)	
14:12	沖田住宅 避難要請	
14:15	消防団対応4名救助	
14:30	野田川宮田橋付近決壊	
14:40	現場に出動 分署, 消防団対応	
14:46	鍋野地区 崖崩れ発生	
14:48	現場に出動 消防団対応	
15:05	松尾地区 マルイ飼料前で車が冠水し救助要請	
15:07	現場に出動 現場着時自力脱出済	
16:37	野田町青木地区 床下浸水	
16:38	現場調査 消防団対応	

日付	時間	実際に実施した対策	
7/22	17:19	高尾野町 高野山付近崖崩れ発生	
		17:22 現場調査 消防団対応	
	18:05	栄町 避難要請	
		18:08 現場に出動 広報車1名救助(避難所に搬送)	
	18:29	本町 総合信用金庫ガスの臭いがする 警察より通報	
		18:31 現場に出動 18:41 ガス漏れ処置済	
	18:45	上堅馬場地区 崖崩れ発生	
		18:47 現場調査 消防団対応	
	19:59	野田川宮田橋の警戒 消防団対応	
	20:00	避難勧告解除	
	20:33	福ノ江港地区 床上浸水	
		20:34 現場に出動 消防団対応	
	21:50	江内地区排水機場冷却出動要請 消防団対応	
	21:30	災害対策本部から災害警戒本部に切替え	
	7/23	1:00	鍋野地区 土砂崩れ発生
			1:18 現場に調査 小屋1棟倒壊 裏山高さ30m×幅30m土砂崩れ
		5:43	1時間雨量50mm越(日添地区,上場地区)
		5:55	1時間雨量50mm越(愛護地区,青年の家)
		6:03	1時間雨量50mm越(消防署雨量計)
		6:30	避難勧告発令 (本町,朝日町,沖田,平良川,広瀬川周辺,六月田中,六月田下)
6:35		高尾野町野添上地区 土砂崩れ発生	
		6:37 現場に調査 分署対応	
6:35		野田支所 野田川宮田橋堤防決壊危険の通報	
6:36		米ノ津川広瀬付近が越水 ポンプ車より連絡	
7:08		避難勧告広報 タンク車	
7:11		朝日町地区 避難要請(歩行困難者)	
		7:12 現場に出動 救助工作車3名救助(署避難所に搬送)	
7:25		出水地区消防団全分団招集	
7:34		避難勧告広報 広報車	
7:42		上沖田地区 避難要請	
		7:44 現場に出動 ポンプ車・救急予備車6名救助	
8:04		今釜地区 避難要請	
		8:07 現場に出動 救急予備車1名救助	
8:18		安原地区に避難勧告	
8:28	緑町地区 避難要請		
	8:30 現場に出動 8:59 救助工作車・救急予備車8名救助		
8:53	沖田地区 避難要請		
	8:55 現場に出動 ポンプ車・ボートにより9名救助		
9:03	沖田地区 避難要請		
	9:04 現場に出動 広報車7名救助		
9:08	高尾野川 上水流橋付近右岸左岸調査 分署対応		
9:19	春日橋偵察出動 タンク車より水防作業の必要あり		
	9:40 消防署,消防団対応(土のう,竹流し)		
10:05	上沖田地区 避難要請		
	10:06 現場に出動 救急2号車		
11:10	避難勧告解除		
11:10	市内一円 通行状況調査 救急1号車		
17:15	対策本部解散 警戒本部に切替える		

第 2 節 薩摩川内市消防局

薩摩川内市消防局が実施した災害応急対策は、次表のとおりである。なお、特異な事例については続けて列挙している。

(1) 体制等

日 付	時 間	体制
7 / 22	8:30	消防警戒本部設置
	10:00	職員第 1 召集配備体制（一部の職員召集）
	11:25	消防活動対策本部設置
	11:30	消防団第 1 召集配備（甑島を除く各分団 5 名程度）
	11:55	職員第 2 召集配備体制（職員の半数召集）
	14:10	職員第 3 召集配備体制（全職員の招集） 消防団第 2 又は第 3 召集配備（被害程度による）
7 / 23	12:00	職員第 1 召集配備体制へ移行 消防団第 1 配備体制へ移行（被害程度による）
		消防活動警戒本部へ移行
	18:40	消防活動警戒本部へ移行

(2) 出場隊及び出場人員の状況（7月22日～23日）

	水防活動		救助活動等	
	出場隊・分団数	出場人員	出場隊・分団数	出場人員
消 防 局	1 1 隊	3 7 名	7 4 隊	2 4 8 名
消 防 団	5 分団	4 2 名	6 分団	2 6 名

消防団員出場数 延べ 1,252名（待機を含む）

(3) 救助の状況

場 所	状 況	救助者数(人)	備 考
祁答院町	川への転落	1	
陽成町	冠水	4	
楠元町	冠水	2	
久住町	冠水	4	県防災ヘリによる救出
東郷町	冠水	1	
港町	冠水	1	
中村町	冠水	1	
中郷 3 丁目	冠水	3	
祁答院町	生き埋め	1	死亡
中村町	冠水	3	
東郷町	冠水	7	
計		2 8	

(4) 特異な救助事例

県防災航空隊による救出

7月22日14時00分、久住町で2世帯4名の逃げ遅れがいるという通報を受け、6隊19名が出場した。

現場到着時、久住町一帯は腰部分まで冠水していた。

この地域は無堤地域であり、すぐ横を流れる川内川が増水し、川内川に架かる久住橋では橋を越水するほどだった。この橋が川の堰の役割を果たし、流れを阻害された水が久住町に流れ込み濁流となっていた。

救出のため、まず、ロープを展張しようとしたが、逃げ遅れの家屋まで濁流の中では行くことが出来ず断念。

次に舟艇により救出を試みたが、船外機にロープなどの浮遊物等（冠水している場所が畑で、野菜用の棚等があったが濁流で見えなかったためと思われる）が絡まり航行不能となった。

このため、県の防災航空隊の出場を要請し、家屋の屋根に取り残された4名の救出を実施した。

土砂災害の生き埋め救出

7月22日16時11分頃、薩摩川内市消防団東部大隊祁答院方面隊下手分団部長が巡回中に幅19m、高さ8mにわたって崩落した土砂に巻き込まれ生き埋めになった。

通報を受けた消防局では、直ちに職員27名、消防団員30名を出場させ、警察官8名と駆けつけた周辺建設業者の協力も得ながら必死の救出活動を実施し、17時10分に土砂の中から救出し病院へ搬送したが、病院で死亡が確認された。

今回の豪雨災害では、午前中、祁答院方面隊蘭牟田分団員が、増水した川に転落し100m近く流され、川岸の木の枝に必死にしがみつき自力脱出したところを救急車に収容搬送。午後になってからは、東郷方面隊東郷西分団員2名が、住民への避難勧告に出かけたまま詰所に帰ってこないとの報告がなされた。東郷西分団員は、崩土のため迂回路を使い帰路したため途中連絡が途絶えたものであったが、殉職団員を出す一步手前の事故が相次いで発生した。見回り警戒等の消防団活動を行うに当たっては、十分な注意を払うようにと消防団無線で呼びかけていたが、夕刻に既述の祁答院方面隊下手分団部長の不幸な事故の報が入ってきた。

(5) 災害復旧活動

泥流が引いた後には濡れて重くなった畳や布団、衣類などが残り、被災した市民は一段落する間もなく、親戚や災害ボランティアの協力を得ながら、子供から高齢者まで総出での跡片付けが早速始まった。

濁流が駆け抜けた後の道路には、微粒化した土砂が堆積し、災害復旧や見舞いに頻繁に往来する車両が通るたびに夏の暑い日差しに照らされ干上がった土砂が、砂ぼこりとなって舞い上がっていた。衛生的にも悪いことから、薩摩川内市消防局では、薩摩川内市災対策本部からの要請を受け、当務隊の一部に加え前日までの災害対策でくたくたに疲れている非番職員も含めた5班体制で、25日から市道・県道・国道の区

別無く、被災世帯へ続く道路の洗浄作業を3日間実施した。

上水道は、各家庭で屋内洗浄等に使用していることから水圧低下への影響を考慮し、消火栓からの取水は絶対に行わないこととし、水利の確保は、消防職員として必要な学習であるとして、小川等を堰き止め、自然水利から取水した。

主な対応内容

日付	時間	実際に実施した対策
7/22	8:30	消防警戒本部設置
	10:00	職員第1召集配備体制（一部の職員召集）
	10:05	平佐町：住宅への入水（南部分署 現場確認 担当課へ連絡）
	10:20	祁答院町大裏小学校近く：がけ崩れによる通行止め（祁答院分署 現場確認）
	11:20	東郷町南瀬・倉野地区：巡視（東部署、南瀬・倉野分団 警戒巡視）
	11:25	消防活動対策本部設置
	11:30	消防団第1召集配備（甕島を除く各分団5名程度）
		港町江ノ口公民館付近：冠水（西部署 現場確認）
	11:35	東郷町斧淵地区：巡視（東郷中央分団 警戒巡視）
	11:55	職員第2召集配備体制（職員の半数召集）
	12:03	水引町水引東団地：冠水（西部署 土のう積作業）
	12:15	祁答院町藺牟田：1名川への落水（祁答院分署 救助）
	12:32	陽成町家畜市場：家族1世帯4名逃げ遅れ（中央署 救助）
	12:40	樋脇町倉野小学校前：冠水による通行止め（岩下分団 通行止め）
	13:00	祁答院町上手・黒木：巡視（祁答院分署 警戒巡視）
	13:10	湯田町湯之元：家屋内浸水（高城西分団 シート張り工法）
		上川内町陸橋下：車両内閉じ込め（中央署 救助）
		東郷町南瀬：床下浸水（消防団 ポンプによる排水）
	13:16	楠元町：浸水による逃げ遅れ（消防団 ボートによる救助）
	13:30	久住町：自主避難補助（南部分署・消防団 避難誘導）
	13:40	樋脇町倉野：2世帯3名自主避難補助（倉野分団 避難誘導）
	14:10	職員第3召集配備体制（全職員の召集）
		消防団第2又は第3召集配備（被害程度による）
	14:16	東郷町：1名逃げ遅れ（東郷中央分団 救出）
	14:25	港町江ノ口：1名逃げ遅れ（西部署 救助）
	14:28	水引町：道路への崩土（西部署 現場確認）
	14:45	上川内町：冠水箇所への車両突っ込み（中央署 救出）
	14:50	樋脇町倉野：洗掘（東部署・倉野分団 シート張り工法）
	15:00	楠元町北野牧場：1名逃げ遅れ（平佐西分団 ボートによる救出）
	15:12	樋脇町倉野：避難指示（南部分署・倉野分団 避難誘導）
15:16	中村町平佐東：避難勧告（中央署 住民広報）	

日付	時間	実際に実施した対策
7/22	15:20	中郷3丁目：3名逃げ遅れ（中央署 救助）
	15:30	久住町：7名へり搬送（中央署・南部分署 応援）
	16:03	田海町田海橋：冠水（下東郷分団 土のう積20m）
	16:10	隈之城町尾賀：避難指示（中央署・川内南分団 避難誘導）
	16:13	祁答院町下手：生き埋め（東部署・祁答院分署・中央署・祁答院方面隊・地元の方々 救助） 後に死亡確認
		川内川流域（育英校区）：避難勧告（中央署 住民広報）
	16:36	中郷3丁目：3名逃げ遅れ（中央北分団 避難誘導）
	16:43	港町江ノ口：5名逃げ遅れ（水引分団 避難誘導）
	17:04	花ノ木町：4名避難先間違い（中央署 避難所搬送）
	17:14	湯田町湯田川：堤防決壊（西部署・中央署 現場確認後、消防団へ警戒依頼）
	17:36	樋脇町倉野：避難所変更（本部 地区コミから体育館へのバスによる住民搬送）
	17:38	樋脇町倉野：越水（中央署・東部署・市比野中央分団 土のう積）
	18:51	川内川流域：広報（中央署 堤防見学者への警戒広報）
	19:16	中村町JA東支所：3名逃げ遅れ（中央署 舟艇による救出）
	19:30	五代町前向：避難所変更（中央署 前向公民館からサンアリーナ川内への住民搬送）
	20:05	中郷3丁目：避難所変更（中央北分団 育英小学校からサンアリーナ川内への住民搬送）
	20:15	天辰町：2名逃げ遅れ（中央署 避難誘導）
	20:20	川内川流域：警戒監視停止（消防団 車庫詰所待機指示）
	20:43	国道267号：警戒巡視（中央署 道路状況確認）
	22:38	東郷町東郷中学校付近：道路の亀裂（中央署・下東郷分団・東郷中央分団・鳥丸分団 現場確認後道路巡視員と現地協議 国土交通省へ連絡）
7/23	2:30	隈之城町尾賀：冠水による避難（南部分署 避難再指示・避難誘導）
	4:15	下甌町長浜：施設裏崩落（下甌分駐所 現場確認）
	4:21	天辰町三堂：避難勧告（中央署・中央分団 住民広報）
	4:34	高江町牟田川：越水（高江分団 現場確認 夜明け後避難検討）
		国道267号：警戒巡視（中央署 道路状況確認）
	5:15	祁答院町：警戒巡視（祁答院方面隊 分団車庫付近状況確認）
	5:23	高城町：警戒巡視（中央署 主要道路状況確認）
	5:25	国道3号湯田町：警戒巡視（中央署・西部署 道路状況確認）
	6:00	鹿島町郵便局前：冠水（鹿島分団 水門閉鎖及びポンプによる排水）
	6:11	樋脇町倉野：運搬（樋脇北分団 ボートによる発電機用燃料運搬）

日付	時間	実際に実施した対策
7/23	6:27	中郷町山田島：堤防亀裂（中央署・中央分団 土のう積工法）
	7:00	祁答院町河川：警戒巡視（祁答院分署 河川状況確認）
	7:23	城上町小川下：堤防決壊の恐れ（城上分団 シート張り工法）
	7:34	中村町：住宅裏崖崩れ（平佐東分団 シート張り工法）
	7:59	東郷町斧淵：堤防漏水2箇所（中央署・東郷中央分団・下東郷分団 月の輪工法）
	8:43	東郷町斧淵ホテルパープル：12名逃げ遅れ（中央署 舟艇による 7名救出5名依頼残留）
	9:25	祁答院町：警戒巡視（祁答院分署 道路状況確認）
	9:36	鹿島町ヘリポート取付道路：警戒巡視（下甌分駐所 道路状況確認）
	10:26	水引町：住宅裏崖崩れ（西部署 現場確認）
	11:17	東郷町斧淵：住宅裏崖崩れ（藤川分団 現場確認）
	11:58	水引町：土砂崩れ（西部署 シート張り工法）
	12:00	職員第1召集配備体制へ移行 国道267号：警戒巡視（中央署 道路状況確認）
	12:02	小倉町川底：住宅裏崖崩れ（西部署・水引分団 シート張り工法・ 寝たきり者病院搬送）
	14:07	網津町佐山隧道：警戒巡視（西部署 トンネル状況確認）
	18:40	消防団第1配備体制へ移行（被害程度による） 消防活動警戒本部へ移行
7/24	18:00	被災地：巡視（中央署 状況確認）
7/25		道路清掃
	8:27	中村町：搬送（中央署 長野公民館 病院搬送 1時間30分後転院 搬送）
	16:24	中村町：搬送（中央署 ボランティアの軽症者病院搬送）
	20:00	消防活動対策本部解散
7/26		道路清掃
7/27		道路清掃

第3節 霧島市消防局

霧島市消防局管内においては、7月21日21時に消防局警戒本部を設置し、県やインターネット等の河川情報等の気象情報をもとに各署所に大雨被害の警戒を呼びかけるとともに警戒体制を確立した。7月22日20時30分災害対策本部を解散するまでの被害は、7月22日13時46分頃簡易水道配管取替中に負傷した者を救急搬送した。

主な対応内容

日付	時間	実際に実施した対策
7/21	20:42	本庁・総合支所の職員待機状況把握
	21:00	霧島市警戒本部設置・消防局警戒本部設置
	21:23	署所長召集及び横川分遣所非番者召集
	22:00	横川町家屋災害発生の確知
	22:00	隼人町消防団召集
	22:15	隼人排水機管理 隼人町消防団4部出動
	22:25	牧園町にて軽微な川の増水及び土砂崩れ発生
	23:16	隼人町 水天淵発電所取入れ口付近国道223号軽微な土砂崩れ発生
7/22	0:00	北署非番者5名召集，北署着
	0:22	北署 非番者召集10名
	5:30	消防局警戒本部解散，招集者解散
	12:57	霧島市災害対策本部設置，消防局災害対策部設置
	13:19	溝辺町竹子（水道工事中がけ崩れにより負傷 1名 大迫整形搬送）
	14:52	隼人町 妙見石原荘土のう搬送処置
	16:40	牧園町 国際ホテル付近（霧島ホテル側）土砂崩れによる通行止め
	20:30	消防局災害対策部解散，各署・所・課長自宅待機

第4節 さつま町消防本部

1 警戒活動

7月21日20時頃に川内川水位が警戒水位を超える見込みとの連絡を受け、警戒巡視隊により河川沿い及び低地等の警戒巡視活動を実施した。20時54分川内川水位が警戒水位を超過し、更に上昇傾向にあるとの連絡を受け、警戒巡視隊により一部の浸水危険地域及び土砂災害発生危険地域住民に対し、自主避難を呼びかけた。

22日、小康状態が続いていた雨は、9時頃から突然激しく降りだし、通信指令室には、土砂崩れや家屋内への雨水流入等の119番通報が集中し、情報処理とその対応に追われた。各現場へ出動する中、9時40分に消防対策本部を設置するとともに第3非常警戒及び第3配備招集を発令し、警防力強化を図ったが、災害拡大は、警防力を上回る勢いであった。一時低下傾向にあった川内川水位は豪雨とともに急激に上昇し、警戒水位内にあった水位は2時間程で計画高水位を超過し、11時00分に避難勧告が発令されたが、35分後には避難指示へと切り替わり、消防団と連携して巡回広報による避難を呼びかけた。

その後通信指令室には、浸水地域からの救助を求める通報が、集中的かつ大量に入電したため、混乱状態に陥り、活動隊への指令及び交信もままならない状況であった。

虎居地区の救助活動が完了した18時30分頃から再び警戒巡視活動を実施し、翌23日18時頃まで行った。

2 救出活動

7月22日11時29分、虎居地区の住宅が浸水し、逃げ遅れた者が2名いるとの通報が入る。これ以降、虎居浸水地域からの救助要請が殺到する。災害が拡大するおそれがあることから消防本部では12時00分に、虎居地区のさくらクリニックに現場指揮本部を設置して、警戒巡視中の全隊を集結させた。

現場は、河川沿いを中心に広範囲にわたり浸水が進んでおり、一刻を争う状況であった。隊員等は救助ボートや救助ロープを使用しての救出、胸まで浸かり要救助者を背負って搬送するなど懸命な救助活動を行った。また同時間帯に発生した他地区での水難事故や建物火災など災害が発生し、資機材や人員に不足が生じた。17時頃になると川内川は更に増水し水の勢いが強くなってきたため、河川沿いで救助ボート使用が不可能になったが、応援に駆けつけた自衛隊と協力し、アーケード上にロープブリッジを作成し6名を救助した。応援要請機関などの協力もあり、日没までに二次災害による負傷者等を出すことなく、要救助者234名全員を救出した。しかし、二渡地区で発生した水難事故による行方不明者は発見できなかった。

7月23日9時00分「湯田地区で郵便物を配達中の車両1台が浸水地域にて孤立している」との通報を受け、消防車1台と救助ボートを出動させ、浮き島状態となった地域から男性1名を救出した。

7月24日、早朝から災害復旧活動が開始され、本部からも被災者以外の休務者及び日勤者全員で災害復旧活動と行方不明者の捜索活動にあたった。13時20分、22日から行方

不明となっていた男性を事故発生現場となった二渡地区の砂利採取場内にて遺体で見出し、捜索活動を終了した。

なお豪雨災害時の活動状況と機関別救助人員については以下のとおりである。

(1) 豪雨災害における活動状況

	7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日
消防本部	2台	10台 1隻	9台 1隻	7台	3台	3台
	6人	40人	41人	26人	24人	19人
消防団	5台	28台 2隻	15台 1隻	26台	22台	14台
	34人	413人	213人	338人	234人	125人
計	7台	38台 3隻	24台 2隻	33台	25台	17台
	40人	453人	254人	364人	258人	144人
主な活動内容	警戒活動 避難広報活動	警戒活動 避難広報活動 救助活動	警戒活動 救助活動	行方不明者捜索 災害復旧活動	災害復旧活動	災害復旧活動

	7月27日	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日
消防本部	3台	3台	1台	2台	3台
	21人	21人	2人	5人	13人
消防団	7台	8台	2台	2台	5台
	68人	76人	26人	34人	47人
計	10台	11台	3台	4台	8台
	89人	97人	28人	39人	60人
主な活動内容	災害復旧活動	災害復旧活動	災害復旧活動	災害復旧活動	災害復旧活動

(2) 救出活動状況

消防機関による救出人員		消防機関以外による救出人員	
内 訳	人	内 訳	人
ボート救出 計	93	ボート救出 計	94
・消防本部(消防署)	(39)	・役場職員	(42)
・消防団	(54)	・民間人	(24)
		・自衛隊	(28)
ボート以外 計	48		
・消防本部(消防署)	(48)		
小計	141	小計	94
合計		235人(聞き取りによる)	

主な対応内容

日付	時間	実際に実施した対策
7/21	20:12	消防車 2 台管内警戒巡視出向
	20:40	第 1 非常警戒及び第 1 配備招集発令
	21:00	本部気象観測装置 時間雨量 (20:00 ~ 21:00) 36mm
	21:15	求名地区土砂災害発生危険地域住民 (5 世帯) に対し , 自主避難勧告
	22:47	山崎地区浸水危険地域住民 (6 世帯) に対し , 自主避難勧告
7/22	6:56	消防車 2 台管内警戒巡視出向
	9:00	消防警戒本部設置
	9:20	第 2 非常警戒及び第 2 配備招集発令
	9:22	~ 9:44 まで , 小規模崖崩れ及び側溝からの越水による床下浸水危険のため消防車 4 台出動
	9:40	第 3 非常警戒及び第 3 配備招集発令 (全職員招集) 消防対策本部設置
	10:00	さつま町災害対策本部設置 本部気象観測装置 時間雨量 (9:00 ~ 10:00) 88.5mm
	10:13	さつま町消防団全団員招集発令
	10:30	川内川の大幅な水位上昇を確認 , 虎居分団と共同で河川沿いの住民に対し , 避難広報を行う
	11:00	避難勧告発令 (虎居地区 308 世帯 711 人)
	11:13	救助出場 (道路浸水地域における半水没車両からの救助要請) 現場到着時 , 消防団により救出完了 女性 2 名
	11:29	119 通報 虎居地区浸水地域からの救助要請 (第 1 報) 覚知 <u>以降 , 虎居地区浸水地域からの救助要請殺到</u>
	11:31	救助出動 (虎居浸水地域における逃げ遅れ)
	11:35	避難指示発令 (虎居地区 308 世帯 711 人)
	11:45	陸上自衛隊へ災害派遣要請
	12:00	現場指揮本部設置 (虎居地区 さくらクリニック) 陸上・水上からの検 索・救助活動 避難指示追加発令 (虎居地区 476 世帯 1125 人)
	12:15	避難指示追加発令 (宮之城屋地区 127 世帯 288 人) 町内全域河川沿い及び低地住宅に対し避難勧告発令
	12:25	救助出動 (二渡地区 砂利採取場敷地内にて男性 1 名が増水した川に流 され行方不明)
	13:00	鹿児島県防災ヘリコプター「さつま」出動要請
	13:50	陸上自衛隊川内駐屯地災害派遣隊到着
	14:08	陸上自衛隊国分駐屯地災害派遣隊到着
14:46	求名地区 建物火災 (床上浸水家屋) のため , 虎居地区浸水地域で活動 中の消防車 3 台出動	

日付	時間	実際に実施した対策
7/22	16:00	海上自衛隊鹿屋航空基地へ救助ヘリコプター出動要請
	17:00	さくらクリニックより浸水危険に伴う入院患者及び避難者計19名の転院要請
	18:30	虎居地区浸水地域における救助活動完了 警戒巡視隊2隊を配置し、他車両現場引揚
	18:40	海上自衛隊鹿屋航空基地救助ヘリコプター虎居地区浸水地域上空に到着 (実質救助者なし)要救助者確認作業を依頼
	19:17	市街地にかかる主要3橋が浸水により通行不能のため、対岸での救急事案に備え救急車1台を対岸の薩摩郡医師会病院へ配置
	19:33	救助出動 山崎地区(浸水家屋からの身体不自由者1名を含む2名の救助搬送)
	22:00	消防車2台 川内川右岸・左岸に分かれ市街地浸水地域の警戒監視活動を2時間交代で常時実施(~23日18:00) 二渡地区 行方不明者発見できず 浸水地域における救助活動で計234名を救助
	7/23	8:15
9:00		二渡地区 行方不明者捜索活動のため出向
9:05		救助出動(湯田地区浸水地域で郵便物を配達中の男性1名が乗った車両が孤立状態) 10:19 救出
13:09		救助出動(自宅敷地内にて3歳男児が行方不明 用水路に転落した可能性有) 13:20 自宅敷地内歩行中のところを家族により無事発見
14:45		鹿児島県防災航空隊より鶴田ダムへの進入道路崩壊のため、鶴田ダムの孤立者5名を鹿児島県防災ヘリコプター「さつま」で搬送するとの連絡有。着陸地点の指示及び警戒隊を配置 15:56着陸地点へ搬送完了
17:00		町内全域避難勧告・避難指示解除
18:00		第3非常警戒及び第3配備招集解除 二渡地区 行方不明者発見できず
7/24	9:30	災害復旧及び行方不明者捜索活動に出向
	13:20	二渡地区 行方不明者 砂利採取場敷地内にて発見(死亡) ~7/31まで災害復旧活動実施
8/31	17:00	消防対策本部解除

第5節 阿久根地区消防組合

阿久根地区消防組合（以下「組合」という。）は、阿久根市及び長島町で構成される。

今回の豪雨災害は、北薩一帯に大きな被害をもたらし、防災に対する多くの試練と課題を与えた。

活発化した梅雨前線は、次々と新たな雨雲をもたらし、消防署管内の至る所で河川の氾濫、住宅地の浸水、土砂災害、道路陥没等を引き起こした。

7月20日午後9時頃、署管内牛之浜地区（以下「牛之浜地区」という。）で床上浸水が発生する。消防職員・団員による懸命の排水活動は2時間余り続いた。その後、いったん雨も小康状態となり、浸水も沈静化した。夜を徹しての警戒活動を継続する。

翌21日には、消防対策会議を実施し、災害対応に万全を期するよう警戒を強めていたが、午後6時頃に再び牛之浜地区で床下浸水が発生する。その後は、署管内全域からがけ崩れ等が通報される。署においては、消防計画に基づく第2次非常警戒体制とし、一部職員及び発災地消防団を招集し災害調査、警戒活動に当たる。阿久根市においては、午後9時30分災害警戒本部が設置された。

翌22日構成市町は、災害対策本部を設置し災害対応に当たる。署は第3次非常警戒体制とし災害対策本部及び消防団と連携し、河川等の監視警戒、被害状況の調査、水防活動及び避難住民の誘導を継続する。

被害状況は、ますます拡大の一途をたどり、阿久根市においては、市街地及び折多地区が広範囲に浸水し、更にはがけ崩れ、道路冠水等の情報が息つく間もなく通報される。折口東区においては、住宅地が浸水し住民が孤立する事態が発生した。住民、活動隊員の安全管理に十分配慮しつつボートによる救助活動を実施するが、時として腰付近まで水に浸かりながらの活動を強いられた。

特に災害が甚大となった阿久根市を管轄する署においては、河川及び土砂災害危険箇所等の監視警戒、広報活動、住民の避難誘導、浸水箇所及びがけ崩れ箇所等の水防活動、住宅地浸水に伴う孤立住民の救助活動等を実施している。

（1）7月20日午後9時頃、肥薩おれんじ鉄道牛之浜駅裏で床上浸水が発生する。側溝を流れる雨水等は、国道3号を横切り地下排水管により眼前の東シナ海に流れ込んでいる。

この排水管が損壊したために行き場所を失った雨水が付近の低地に浸水をもたらした。管轄する大川分団牛之浜班が所有する小型ポンプで懸命の排水活動を実施するとともに、早期に隣接分団・班への応援要請を実施し、消防職・団員の懸命の活動により被害拡大には至らず。その後雨は小康状態となるが引き続き厳重な警戒監視体制とする。翌21日午後7時頃激しい雨に見舞われ、再び床下浸水が発生、その後23日午後4時まで消防職員・団員による排水活動、警戒監視活動を継続した。

（2）7月21日午後7時過ぎから弓木野地区でがけ崩れが発生するが、危険区域の関係者が自主避難されたため人的被害は発生していない。被害拡大が予測され、署では消防計

画に定める第2次非常警戒体制とし、一部職員及び消防団員を招集して災害調査、警戒体制を強化する。午後8時20分全職員に対し、自宅待機命令をメール配信する。

- (3) 豪雨に伴い水防活動、調査・警戒体制を強化している最中、午後9時01分阿久根駅前で建物火災が発生する。市街地での火災入電に、張り詰めた緊張感が走るが、幸いぼやで終結する。翌朝午前0時45分非常招集した職員をいったん自宅待機に切り替える。
- (4) 7月22日午前7時30分、折口東区で道路冠水による通行止めが覚知される。その後時間経過とともに阿久根中学校付近、大丸町、折多地区一帯が浸水との情報がもたらされる。阿久根市災害対策本部は、浸水地区一帯、河川沿い及び戸柱一帯を含む土砂災害危険区域に対し、早期に避難勧告を発令する。消防職・団員は、第3次警戒体制とし、個別訪問等を含めた広報活動、避難誘導を実施する。特に災害時要援護者に対しては、救急車、消防団車両等を効率的に活用し、迅速な避難誘導を実施した。
- (5) 7月22日午前8時57分、筒田区で軽自動車が濁流に流される事故が発生する。現場は浸水している折多地区一帯のため出場は困難を極める。ようやく救助工作車が現場に到着した時、運転者は自力で脱出しており、幸い人的被害に至らず確保できた。
- (6) 7月22日午後1時頃、浸水被害が甚大な多田区で、多数の住民が工場敷地内に孤立する事態が発生するが、気象状況の推移を確認しながら避難誘導に当たり、事なきを得る。さらに同浸水地区の折口東区で、床上浸水の家屋に住民数名が孤立していると救助要請がなされる。隊員が駆けつけた当初、道路は濁流の様相を呈していた。水位の低下及び流速が緩むのを見計らって救助活動に取り掛かる。ブリッジ線を展張し、ゴムボートによる活動を実施するが、隊員は時に腰まで水に浸かりながらの活動となる。午後3時15分救助完了し、人的被害なし。
- (7) 組合管轄の長島町では、大雨・洪水警報発表に伴い、消防職・団員を第2次非常警戒体制とし、住民への広報活動及び警戒監視活動を早期に実施する。がけ崩れ等の被害が発生したものの、幸い人的被害は1件も発生しなかった。



消防職員・団員による排水活動



消防団による避難誘導

主な対応内容

日付	時間	実際に実施した対策
7/20	20:50	大雨洪水警報発令
	20:53	牛之浜区住宅1棟床上浸水発生
7/21	18:25	牛之浜区住宅1棟床下浸水発生
	18:30	消防職・団員第2次非常警戒体制
	18:47	牛之浜区 浸水現場 排水活動開始(ポンプ車1,可搬ポンプ3)
	18:52	牛之浜区 浸水現場から応援要請
	19:14	牛之浜区 浸水現場応援(中央分団:ポンプ車1)排水活動開始
	19:33	防災無線(避難準備勧告)
	19:40	弓木野区 かけ崩れ発生(山下分団弓木野班出動)
	19:50	弓木野区横ヶ倉 かけ崩れ現場 自主避難(1世帯)
	20:17	牛之浜区 浸水現場に指揮本部設置
	20:20	弓木野区 かけ崩れ現場へ調査出向
	20:29	牛之浜区 浸水現場土のう積み作業(50個)
	21:30	阿久根市災害警戒本部設置
	7/22	7:30
7:35		防災無線(避難準備勧告)
8:00		長島町災害対策本部設置
8:28		折口川増水のため氾濫警戒(牟田区一帯)
8:29		折口川増水のため氾濫警戒(慶越建設付近)
8:44		牛之浜区 浸水現場応援要請
8:50		阿久根市災害警戒本部を災害対策本部に切替
9:02		倉津区 民家裏がけ崩れ
9:44		阿久根中学校グラウンド付近浸水
9:45		下田代区 民家裏がけ崩れ
10:00		広域農道 西目地区でがけ崩れ
10:12		筒田区 溜池付近がけ崩れ
10:15		阿久根市災害対策部長会議開催 被害状況の確認と被害軽減への取り組み指示
10:53		鶴見町国道3号線沿い 住宅1棟床下浸水
11:13		防災無線(避難準備勧告)
11:44		佐瀨区 民家裏がけ崩れ
11:45		筒田区一部に避難勧告発令(3世帯・11人) 大丸区一部に避難勧告発令(63世帯・136人)
11:57		阿久根市内の県道がすべて通行止め
12:00		折口東・永田下区に避難勧告発令(106世帯・288人)
12:30		大丸区一部に避難勧告発令(36世帯・78人)

日付	時間	実際に実施した対策	
7/22	12:50	高松川川沿い(大丸区, 湊区, 町区, 浜区, 高松区)避難勧告発令 (1,660世帯・3,788人) 折口川川沿い(永田下, 折口東, 陣之尾)避難勧告発令 (53世帯・144人) 内田川川沿い避難勧告(42世帯・113人) 多田区浸水 青果選果場敷地に従業員23名孤立	
	13:03	折口東区浸水 住民孤立(建設会社事務所8名, 住宅1棟4名)	
	15:15	折口東区 住民孤立 救出完了	
	15:50	阿久根市災害対策部長会議開催 被害状況の確認, 報告	
	16:18	高之口区 かけ崩れ	
	16:28	市道上げ崩れ発生(湊入口交差点から山下方面への途中)	
	16:30	波留区一部避難勧告発令(400世帯・1,000人)	
	16:40	永田上区避難勧告発令(99世帯・272人) 筒田区避難勧告発令(65世帯・166人)	
	16:46	横座トンネル入口 阿久根側土砂災害発生 田代・金山区住民へ避難連絡	
	16:46	波留区浸水(黒神~上脇石油間)	
	18:58	高松川流域警戒監視	
	19:35	高松ダム放水(洪水調節)	
	22:40	阿久根市災害対策部長会議開催 被害状況の確認, 報告及び今後の対応について	
	0:43	阿久根市災害対策部長会議開催	
	7/23	7:22	下村区 住宅裏が崩れ発生(住宅半壊 人的被害なし)
		7:30	市道田代中線冠水 通行止め
		7:35	折口ニュータウンで住宅1棟半壊
		8:01	国道389号線, 黒之上バス停付近道路冠水
		8:05	阿久根市災害対策部長会議の開催 被害状況の確認, 報告
		8:54	脇本下村区 住宅裏がけ崩れ
		9:34	脇本・小漣~笠山線 かけ崩れ
		10:34	牛之浜地区 住宅前道路陥没, 避難完了
10:40		高松ダム放水(洪水調節)	
11:12		山下地区がけ崩れ調査(防空壕跡地)	
11:40		戸柱一帯(グランビュールあくね入口)土手亀裂状況調査	
13:00		筒田, 折口東, 永田上, 永田下, 高松川・折口川・内田川沿い, 波留避難勧告解除	

日付	時間	実際に実施した対策
	13:35	山下小学校プール付近及び清水商店前がけ崩れ
	15:02	折多分団多田班詰所浸水
	15:52	黒之上 住宅裏がけ崩れ
	18:23	阿久根市災害対策部長会議開催 被害状況の確認, 報告, 災害対策本部解散について
	19:30	阿久根市災害対策本部を災害警戒本部に切替
	9:45	土砂災害警戒警報解除
7/24	10:00	自主避難者(77世帯・122人, 一時避難159人)全員帰宅 大丸区一部(63世帯・136人)避難勧告解除
	10:07	大雨洪水警報解除
7/25	12:00	大丸区一部(7世帯・16人)避難勧告解除
7/29	13:00	市道山下尾崎線通行止め
	17:00	阿久根市災害警戒本部解散

第6節 大口市外四町消防組合

1 災害対応について

今回の大雨により、管内（大口市・菱刈町・湧水町）では、近年稀にみる広範囲で、また、大規模な豪雨災害になり、管内いたるところで土砂崩れ、建物浸水、河川の氾濫、道路冠水等甚大な被害が発生した。大口市と菱刈町また湧水町でも総雨量が1,000mmを超え、平年の7月月間雨量の2倍以上を記録した。21日から22日にかけて梅雨前線の活動が活発になり、22日に管内全域で被害が相次いで発生した。消防本部では21日17時に対策会議を開き、各署所に警戒巡視を指示する。

降り続く雨は22日8時頃から激しさを増し、夕方まで所によっては時間雨量70mmを超えた。

本部は9時に非番者を招集し災害発生に備えるとともに各署所1名をそれぞれの市町災害対策本部に派遣した。

8時から17時までの雨量は大口消防署285mm、菱刈分遣所331mm、南消防署288mm、吉松分遣所350mmを記録し何れも時間雨量30mm以上を記録。

管内各地で河川、側溝等の氾濫や土砂崩れが相次いで発生し、床上、床下浸水、土砂崩れの危険により、多数の住民が避難を強いられた。

川内川の水位は吉松橋で16時に計画高を41cm超える8.71m、栗野橋で17時に計画高を14cm超える7.29m、花北橋で12時に計画高を5cm超える7.55mに達した。

構成市町は21日夕方まで警戒本部を設置。22日9時30分までに災害対策本部に切替えた。

9時頃から通信指令室では119番通報が相次ぎ、対応に追われパニック状態になった。隊員は通報の現場に出動、帰署する間もなく次の現場へ出動する状況が続いた。また、構成市町は避難勧告を出し避難を呼びかけた。なかでも菱刈町では全世帯に避難勧告を出した。各署所では署員が消防団員と市町職員らと協力して、増水で孤立した住民をボート等で救助するなか、大口市堂崎地区では濁流に遭い1名が、菱刈町では土砂崩れに遭い2名が犠牲となった。

主な現場活動は次のとおりである。

2 救出活動

- (1) 22日12時11分、大口消防署では下殿高津原地区で白木川が氾濫し、道路が冠水し床下・床上浸水で避難できないとの要請により、隊員が同地区に集合し住民の救出をボートで開始、その最中近くの堂崎地区で避難しようとした女性が濁流に遭い、流されたとの通報で救出に向かう。流された付近はたんぼで水深2mに達していた。懸命の捜索により2名の隊員がボートで発見し13時27分救助したが、病院搬送後死亡が確認された。

隊員は高津原地区の救助を再開、水位は増し高いところでは天井近くまで達する中、17時20分までに15名を救出した。

(2) 吉松分遣所では、22日9時にボート2艇を川添分団詰所と柿木交差点（国道268号）に配置。川内川増水のため、南消防署のポンプ隊を応援要請し、吉松ポンプ隊と川添・中津川・中野地区住民に広報活動を行い、土石流の虞のある四ツ枝地区1名を救急車で老人福祉施設つつはの園に搬送した。

10時35分に四ツ枝地区、10時45分に中津川・川添地区、11時25分に山下・般若寺地区に避難勧告が発令され、12時05分には吉松橋水位が7.4m（危険水位超過）となる。

中津川・川添一帯では高さ77m幅25mのほか大小の崖崩れが9箇所が発生した。13時10分には吉松地区の避難勧告が避難指示に切替えになり避難指示の広報活動を行う。

13時05分頃、桶寄川堤防の越水が始まり広範囲で家屋浸水が発生した。この浸水は、高いところでは天井付近まで達した住宅もあった。

14時35分頃、山下地区で避難できなくなった6世帯10名をボートで救出する。

16時50分終了。

17時25分頃、中野地区で避難できなくなった2世帯2名をボートで救出する。

18時09分終了。

19時05分頃、古川地区で避難できなくなった1世帯4名をボートで救出する。

19時36分終了。

22時58分頃、川添地区で避難できなくなった4世帯10名をボートで救出する。

23日00時03分終了。

(3) 22日17時25分、菱刈町前目下名の県道の斜面崩落で車が押し流され、走行中の車2台を巻き込み、家屋一棟も損壊した。

道路上に横転した車両から5名を菱刈分遣所の救急隊が救出し病院に搬送した。また、同時出動したタンク隊は、大口消防署救助隊及び重機の要請を行い、土砂に埋もれた別の車両の救出活動を継続する。17時50分重機が到着、チェーンソー、スプレッダー等の機材を使用し20時40分に男性1名を救出し、病院に搬送したが死亡が確認された。

もう1台巻き込まれたとの未確認情報があったが、降り続く雨で二次災害のおそれがあったため21時捜索活動を打ち切り、翌朝7時30分から捜索活動を再開したが、車両のないことを確認し18時に活動を終了した。

(4) 22日18時10分、下名地区の現場活動中に下手地区で土砂崩れが発生し家屋が倒壊したため、大口消防署と菱刈救急隊が下手の現場に出動する。18時25分重機が到着、倒壊した家屋を重機で持ち上げ女性1名を救出し病院に搬送したが死亡が確認された。

(5) 22日21時55分、大口市曾木地区で床上浸水と道路冠水で孤立者数名の救出に向かう。

現場への国道267号は冠水しており、迂回し到着まで相当の時間を要した。現場は菱刈町の川間川氾濫により曾木地区へ川のような流れになっており、また、暗く船外機を使用すると危険であることから、ロープを張りロープ伝いにボートで数回にわたり23日0時54分までに9名を救出した。

(6) 23日5時46分大口市神池地区で高さ20m幅20mの崖崩れに出動すると、住家1棟、倉庫1棟が倒壊していたが住民1名は前日避難していた。しかし、崖肌からは濁った水が

流れ出てたので、付近住民に避難を呼びかけた。

3 おわりに

今回の北薩地方を襲った未曾有の豪雨災害はあらためて自然災害の脅威を痛感させられた災害であった。消防、水防活動を終えて、初動体制を始め多くの課題を残した。

小規模消防本部にとって大規模な災害の対応には人的・物的に限界があり、関係機関との情報の共有化を図り、協力体制を確立する必要性。早期避難勧告、避難指示の時期が被害の軽減に直結するが、道路冠水で消防車両等での広報は限界があり、防災無線、テレビ等が有効であるとともに、土砂崩れ、道路冠水による道路寸断で孤立する住民に対してはヘリコプターでの救助も有効である。避難勧告、指示に対して楽観的に考えている住民がいるが状況は刻一刻と変化するので、毅然とした態度で勧告、指示をすべきであると同時に住民側の危機意識も喚起する必要がある。

また、夜間発生 of 災害は、水防活動及び救助活動を困難にし、人的・物的被害はもとより、隊員の危険性は更に大きいものとなる。

以上、今後の防災、減災についての教訓、反省として得られたものが非常に大きく、これからはこれらを糧として災害の予防、活動に生かしていきたい。

主な対応内容

日付	時間	実際に実施した対策
7/22		警防課長松元病院菱刈掘切峠交通事故傷病者聞き取りに災害現場へ出向
7/23	0:25	NTTより連絡(電話吉松75局使用不能)南署より連絡有り
	3:00	本部会議室 対策会議(会議終了後本部待機)
	5:46	大口市神池土砂崩れ現場出動(高さ20m×幅20m)住宅1棟倉庫1棟倒壊(タンク車・ポンプ車・工作車8名)人的被害なし
	6:05	付近住民に避難勧告を発令,6:15電線遮断大口九州電力手配
	6:50	帰署
	6:50	指令車 菱刈町下名土砂崩れ現場出動 4名
	7:20	菱刈タンク車・救急車現場出動 11名
	7:25	指令車・タンク車・救急車 現場着
	7:48	連絡車 菱刈町下名土砂崩れ現場出動 4名 8:15現場着
	7:50	捜索関係団体協議
	8:10	捜索開始(消防署30名・警察13名・消防団16名・土木事務所10名)工作車 菱刈町下名土砂崩れ現場出動 4名 8:27現場着
	8:10	ライオンズ号 菱刈町下名土砂崩れ現場出動 7名 9:00現場着
	8:40	湧水町中津川 田中守宅救助出動(吉松タンク車・救急車・南ポンプ車)ボートで検索するが不在
	9:18	湧水町中津川古川 米満勝宅救助出動(吉松タンク車・救急車・南ポンプ車)ボートで3名救出 10名救出拒否

日 付	時 間	実 際 に 実 施 し た 対 策
	9 : 57	大口ポンプ車警戒出向 13 : 28 帰署
	11 : 08	南署ポンプ車 吉松から帰署
	11 : 35	菱刈町下名現場捜索中断
	11 : 50	菱刈町下名現場捜索開始
	12 : 50	南救急車 本部へ前進待機 14 : 25 分帰署
	13 : 00	吉松 75 局電話 1,100 世帯不通 全復旧の目処つかず (N T T)
	13 : 22	避難勧告 一時帰宅許可 (曾木小学校以外)
	15 : 30	栗野橋警戒水位まで水位減少 避難指示解除
	16 : 00	通信指令室非番者解散 湧水町中津川・川添地区の浸水地域と山際を除く地域の避難指示を避難 勧告に切替え
	16 : 55	川内川上流部洪水警報解除
	18 : 00	菱刈町前目 下名入口バス停付近土砂崩れ現場捜索終了
	18 : 10	全隊菱刈町下名現場引き上げ 18 : 23 帰署
	21 : 10	川内川花北水防警報解除
7/24	10 : 07	大雨洪水警報解除 (伊佐・始良地区)
7/26	17 : 00	湧水町中津川・川添地区の一部地域を除き避難指示を避難勧告に切替え
8/5	13 : 00	湧水町避難勧告地域の縮小